**第５学年　道徳科学習指導案**

１　主題名　　「広い心」　Ｂ－（１１）　相互理解・寛容

２　資料名　　「折れたタワー」（出典「生きる力」）

３　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な発問と学習活動・児童の反応 | 指導上の留意点・支援 |
| 気づく10　深める25　　見つめる10 | ●忘れものをした　●委員会の仕事を忘れた●委員会を忘れたのはしかたがないと思って代わりにやっておいた●野球の試合で負け、エラーした友達を許した○「折れたタワー」を聞こう○役割演技をして、ひろしの気持ちを考えよう●どうしよう、でもわざとじゃないし●失敗した。でも謝ったのに、ひどいよ○自分がひろしだったらどんな気持ちか心情円で表わそう　　●マスクを忘れた時、許してくれなかった　許してやるもんか、でもわざとじゃないし●一生懸命作ったのに、うつむいてないであやまれよ●掃除をしていてこうなったなら仕方がないでも悲しいな●あのときのぼくと同じ気持ちだろうな●優しい心　自分も同じ気持ちだったから許そう●しょうがないという心　わざとではないから●広い心　またタワーは作ればいいから○ひろしの態度から学んだことを書きましょう | ＊本時のねらいとする価値について課題意識をもたせる。主 自分の失敗した経験や失敗を許した経験を話すことで、ひろしの気持ちに共感させる。対 互いの失敗談を聞くことで失敗が誰にでもあることに気づかせる。＊のりお役を教師、ひろし役を児童が演じる。深 必要以上に責めるのりおの言動を体感させることで、失敗を悪いと思いながらも納得いかないひろしの気持ちに気づかせる。＊数日後に２人の立場が逆転することを確認させる。＊タワーがひろしにとってどれだけ大切だったか確認させる。主 許す気持ちを赤、許せない気持ちを青とし、自分事として考えることで、ひろしとの気持ちが揺れていることに気づかせる。対 友達の意見を聞くことで、許す気持ちと許せない気持ちの両方を考えさせる。深 （今ののりおは、あのときのぼくと同じだな）と思った理由も考えることでのりおを許せたひろしにどんな心があったか気づかせる。＊プリントに書かせる。＊許してもらったのりおの気持ちにもふれる。深 相手を許したひろしの言動を振り返ることで、相手の気持ちを考えて行動しようとする気持ちをもたせる。 |

失敗をしたことはありますか

失敗した人を許したことはありますか

謝っても、許してくれそうになかったとき、ひろしはどんな思いになったでしょう

じっとうつむいているのりおを見て、ひろしはどんなことを考えていたでしょう

（今ののりおは、あのときのぼくと同じだな）と思ったひろしにはどんな心があったのだろう

今日の振り返りをしましょう